

会費・募金へのご協力
ありがとうございました

平成 29 年度もみなさまの厚いご協力とあたたかいお気持ちを頂戴し、心より感謝いたします。
みなさまから寄せられた会費・募金は、今後も港南区の地域活動を支援していくため有効に活用してまいります。

平成 28 年度 赤い羽根共同募金・ 年末たすけあい募金のご報告



平成 28 年度の募金の活用先

○赤い羽根募金のつかいみち

地域福祉へ 3,000,000円
●区内 15 地区社会福祉協議会（ひとり暮らし高齢者の
見守り訪問・サロン活動・給食会、ご近所支え合いマ
ップ作成、地域のちいさなお困りごとへの支援など）

高齢・障がい・児童福祉へ 8,600,000円
●ひとり暮らし高齢者などへの配食サービス
●地域交流・居場所づくり（異世代交流活動、不登校・ひきこもり支援）
●家事・介護の支援、外出介助、見守り
●子育て支援 ●障がい児者の余暇支援活動 など

社会福祉施設へ 980,000円
●区内保育園 プール設置 ●区内更生保護施設 寝具入れ替え

区社会福祉協議会へ 1,198,000円
●区社協だよりの発行 ●災害見舞金の支給
●低所得者への旅費等援護費 など

○年末たすけあい募金のつかいみち 4,467,190円
こうなんふれあい助成金や、区内の福祉活動などに活用
されました。

【活用の一例】



こうなんふれあい助成金
事業例①(サロン運営)



こうなんふれあい助成金
事業例②(研修会実施)



社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 (港南区社協ボランティアセンター)

〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3 階（そよかぜの家 3 階）
TEL：045-841-0256 FAX：045-846-4117
URL：http://www.kounan-shakyo.jp/ E-mail：toiawase@kounan-shakyo.jp



編集 後記

今回から誌面が新しくなりました。多世代交流を切り口に、広報委員が手分けをして港南区内の各地域取材しました。未来カフェの小学生、クリーンスポーツ大会の中学生、川の学校の高校生、それぞれの地域で積極的に活動する地元子どもたちの姿には、明るい未来にバトンをつなぐ確かな手ごたえを感じました。（J.A）

港南区社会福祉協議会広報委員 原田 紘司 根本 雅美 林 壽美子 山田 親弘 中野 茂男 野間 肇 笠原 加代子 阿部 潤子

○この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。
○港南区社会福祉協議会では、事業計画・報告並びに収支予算・決算についてホームページに掲載しております。また冊子をご希望の方は事務局までご連絡ください。
○「社協だよりこうなん」音声訳版（テープ・CD）もボランティアグループ「港南音訳ボランティアいどんわ」の協力により作成しています。
ご希望の方は港南区社会福祉協議会までご連絡ください。

港南区社協 善意銀行（通年受付）

港南区の高齢者・障がい者をはじめとする様々な方を支援する
ため有効に活用しています。

（平成 28 年 11 月 2 日～平成 29 年 11 月 1 日受付分）

【善意銀行寄付金】 1,305,672円

◎寄付者一覧（順不同・敬称略）（平成 29 年 11 月 1 日現在）

下永谷地区社会福祉協議会、港南区クリスマスチャリティーコンサート
実行委員会、港南区民謡民舞連合会、上大岡ハロウィン実行委員会、横
浜市女性団体連絡協議会、マックスパリュ東海株式会社キミサワ港南台
SC 店、仲山啓子、ピア・当事者活動を考える会、司法書士ともえ事務所、
平成 29 年港南区消防出初式実行委員会、有限会社グリーンプロスパー、
石渡美華、上大岡芸能友の会、野庭住宅地区社会福祉協議会、港南区
女性団体連絡協議会、斎藤昭江、明るい社会づくり運動 港南区協議会、
株式会社清光社、石田哲三および匿名寄付者 8 名

平成 29 年度 日本赤十字社会費募集運動（平成 29 年 5 月～）

国内外の救援活動や区内の救急法講習会の開催、地域福祉活動
支援、罹災世帯への災害見舞金にあてられます。

【会費】11,126,446円

（平成 29 年 11 月 1 日現在）

「社協だよりこうなん」の広告を募集します！

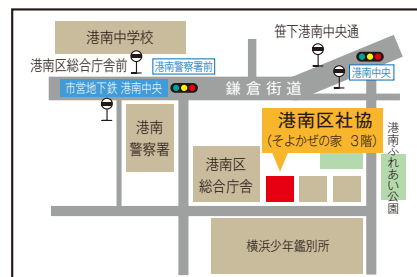
「社協だよりこうなん」は、港南区民を主な対象とした地域福祉
の広報誌です。毎号 85,000 部を発行し、港南区にお住いの
方に配布されるほか、港南区にある関係施設や P R ボックス
等にも置かれています。
詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みは

社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会まで

配布先

自治会町内会、区社協会員団体、地域ケアプラザ、区役所、横浜市社協



社協だより

KoNan

No. 72
Dec. 2017

ボランティアセンター通信合併号

【特集】 世代間交流

未来への バトンリレー 「ぼくも私も頑張ってます」

若い世代とシニア世代が、地域のお祭りやスポーツ、ボランティア活動を通して
身近な仲間となっていく。世代を問わずより良い関係を築いていくことで、自分
たちの地域の“これから”を考えていける。今回の社協だよりこうなんでは、より
住みやすい街づくりを、住民みんなで進めている地域をご紹介します。



社協だより こうなん 第 72 号

■発行 / 社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 ■発行責任者 / 長 信男 ■発行日 / 平成 29 年 12 月



大人から子どもへ 子どもから次の子どもへ 川の学校

大岡川は、上流の日下地域では笹下川と呼ばれます。笹下川は急激な住宅開発の影響により昭和30〜40年代まで洪水を起こしていましたが、昭和55年に根岸湾への分水路が完成し、氾濫が治まりました。

しかし、時代とともに川への美化意識が薄れ、ゴミが投棄されるように。「昔のようにホタルが飛ぶふるさとの川を取り戻そう」と地域の人達が『笹下川再生プロジェクト』を立ち上げました。その活動の一環である『川の学校』は今年で8年目になります。川の学校は誰でも参加しやすい講座形式となっており、親子や夫婦、子ども達など、様々な受講生がいます。



魚が多く生息するポイントに到着したら魚釣りスタートです



じーっと辛抱することも魚釣りの醍醐味



「どんな魚が釣れたかな？」子ども達は興味津々です



ただのゴミ拾いじゃない

芹が谷クリーンスポーツ大会



足元に落ちていないかみんな必死に探します



大人も子どももチームワークが重要です



たくさんのゴミ(宝)と一緒にゴールへ

今年度で第8回目を迎える、『芹が谷クリーンスポーツ大会』。5人1チームとなり、拾ったゴミの重量と分別から計算される得点で勝敗を決するスポーツ的な要素を取り入れた美化活動です。小学生から参加可能で、芹が谷中学校からはPTAが第1回目より、生徒は第2回目より参加しています。

前回は、芹が谷中の生徒だけでも8チームが参加。部活動単位などでチーム分けされています。前回優勝の生徒会チームは、ゴミが多く落ちていた場所の情報を先輩から引き継いでいたり、対抗するサッカー部チームは、持ち前の持久力と脚力で地区内を走り回ってゴミを集めたりと、優勝目指し白熱した戦いを繰り広げています。

「勝負を賭けて行っているので、ゴ

ミ拾いというよりは宝探しをしているような感覚」「地域の色々な世代の人と交流できて楽しい」と笑顔で語る生徒達。地域がきれいになることで地域貢献をしている喜びを感じたり、ゴミの分別にも気を付け、問題意識を持つたり、さらに防災のことまで考えるようになったとのこと。

「地域のイベントの中でクリーンスポーツ大会が一番楽しい」との生徒の言葉が示す通り、前回は全ての自治会や学校、子ども会などから計38団体が参加しました。子ども会のチーム数は第1回目より倍増し、ますます幅広い世代が大会を盛り上げています。

「芹が谷が大好きです！」取材の最後にサッカー部の生徒が答えてくれたこの言葉が、地域の明るい未来です。



大会後は参加者で記念に一枚♪



参加者の芹が谷中生徒と海南台町内会の飯島会長にお話を伺いました！



自分の意見を 言える場って面白い ひした未来カフェ

日下地区の誰でも参加でき、小学生からシルバー世代までが集まって「こんなまちになったらいいな」をテーマに自由に意見を出して行く場が『ひした未来カフェ』です。

「気軽にあいさつし合えるにはどうしたらいいか」が話し合わせ「日下のまちの目印をつけたらいいのでは」との意見が出ました。まちの目印として挙げられたのが、笹下川にいたホタルや日下の民話に出てくるタヌキなど。

ひつしーをデザインした缶バッジは、今年5月から作られ、既に約450個が地域で配布されています。「ひつしーバッジはあいさつしていいの証」安心して気軽にあいさつできる環境・空気が広まっています。

未来カフェでの話し合いは数グループに分かれ、どのグループにも子どもが入っています。まわりの大人も子どもも扱えることなく、対等に意見を出し合っています。「一緒に地域を作っていける実感が嬉しい」と、進んで未来カフェに参加している子ども達も頼れる地域の担い手です。

こんにちは ひつしーです



▷未来カフェ参加者から日下のイメージを聞き、落書きをしていた姉妹。その落書きが「ひつしー」になりました。



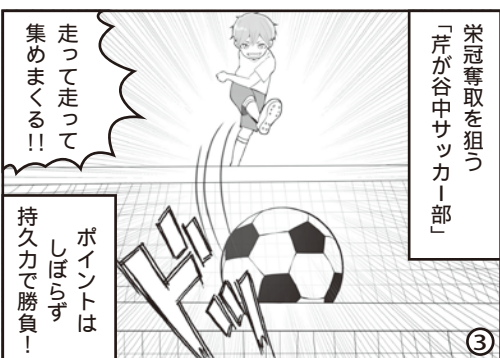
◁缶バッジだけでなく、日下地域ケアプラザのたんぽぽまつりで、フェルト生地の手つしーマスコットを作製できるブースを設けるなど、ひつしーを使った交流の輪が広がっています。



ひつしーの作者である姉妹にお話を伺いました。

自分の意見が言える場、自分の意見が実現する場だから面白い！未来カフェには顔見知りの大人もたくさんいて、話をふってくれるし、きちんと聞いてくれるから嬉しいんです！

解説!! クリーンスポーツ大会



●第8回芹が谷クリーンスポーツ大会は、平成30年2月24日(土)開催予定です。